

## 6 自然災害と防災への取り組み

課題 日本で起こる自然災害にはどのような種類があり、それを防ぐためにどのような努力がなされているのだろう。

2年 組 番

氏名

### (1) さまざまな災害

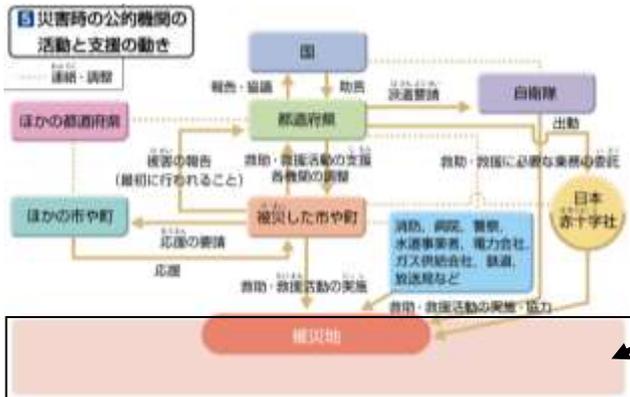
教科書 P.152 を見て、【 】にあてはまる語句を書きましょう。

地震や火山の噴火、洪水は自然現象ですが、災害を引き起こすことがあります。自然は人間に大きな恩恵をあたえる一方で、大きな被害をもたらします。大地震はゆれによる破壊だけでなく、【 】や地盤の【 】などを起こします。地震が海底の場合、【 】が起こることもあります。このような現象のうち大規模なものは、【 】のように日本列島の広い地域にさまざまな災害を同時に引き起こし、大きな影響をおよぼします。また、火山は溶岩や【 】を噴出し、【 】などによる被害をあたえます。

梅雨の時期や台風による集中豪雨は、河川のはんらんや山くずれ、【 】などを引き起こします。強風や【 】、北日本で起こりやすい夏の低温で作物の生育が悪くなる【 】、雨が少ない年に起こる【 】、日本海側や山岳地域などで起こる【 】も、しばしば見られます。さらに、ふだん雪の降らない地域での大雪は、交通・物流の混乱や集落の孤立などの被害をもたらします。

### (2) 被災地へのさまざまな支援

資料1は、災害が起きた時の公的機関の活動と支援の動きを図にしたものです。



自然災害が発生した場合、国が自治体などの協力の下で被災者を保護するために、災害救助法が定められています。被災地への支援として具体的に行われていることを口で書きましょう。

教科書 P.153 を見よう。

### (3) 防災対策と防災意識

下の【 】にあてはまる語句を、教科書 P.153 を見て書きましょう。

気象予報や噴火や地震発生の危険度予測に関する研究も進められています。また、土砂災害についてもさまざまな調査が行われ、危険区域が定められています。このように、災害が起こりにくくする努力をしています。災害が起こった時の対策としては、【 ( )】を作るなどを行っています。

今まで学習してきたことをまとめると、災害の種類について、被災地への支援について、防災対策についての3点でした。これらのことをふまえて、災害が起こった時や、災害が起こりにくくするために、自分にできることを考えて書いてみましょう。

### ☆まとめ

「世界の地形」から「自然災害と防災への取り組み」までの学習を振り返って、学んだことや、考えたことを書いてみましょう。